

田中製茶工場の茶畑オーナーについて

2023年4月1日

茶畑所在地：佐賀県嬉野市嬉野町岩屋川内1829-10(40a) 品種：やぶきた

田中製茶工場ではこれまで米国輸出基準での管理をしてきましたが、令和2年の1番茶後より一部を有機栽培へ切り替え、SDGs（持続可能な開発目標）に向け新たな取り組みとして「茶畑のオーナー制度」を始めました。

将来完全オーガニックティーを目指すための移行3年目です。

内容は以下の通りとします。

①茶畑一区画1a(10m×10m)を一口としオーナー専用茶畑とする。個人や会社スタッフ様にて所有いただきます。

1 オーナー様最大5区画まで(5a分)とします。

②オーナー専用茶畑には専用フラッグを立てます。

③4月下旬～5月上旬に茶摘みを出来ますので新芽の育成の記録などは随時SNSでブランディングに活用できる。可能であれば、定期的に茶畑の確認、管理作業に訪問いただき、農作業体験なども可能。

まさに、自分たちで育て、茶畑を持っているというブランディングをできる。

※①～③については茶畑の管理を田中製茶工場に委託するという意味で、年間茶畑管理費を一定金額お支払いいただきます。

一年間の管理費、2パターンよりお選び頂きます。

① 一区画（1a）7万円(税込) 茶葉3kg相当返礼とします。

② 区画（1a）5万5千円(税込) 茶葉1kg相当返礼とします。

※茶畑管理に関して、田中製茶工場に一任していただき、管理は、有機栽培基準にて管理を行います。

④茶摘みは可能であれば田中製茶工場とともにして、製茶加工する。出来上がった茶葉の3Kgまたは、1Kgは無償で受け取ることができます。

ティーバッグ加工の場合は量に変動がございます。下記よりお選びください。

《パターンA》リーフ50g×60パック

《パターンB》リーフ50g×40パック・ティーバッグ3g×5個/40パック

《パターンC》ティーバッグ3g×5個/100パック

このお茶は、オーナー様のオリジナルティー(2021年3月23日より農薬・化学肥料を一切使用せず栽培したお茶)として、お使いいただけます。会社の福利厚生やお礼品、販売用など様々な利用価値がございます。

⑤茶葉(加工茶)の見込み量に関して

●新茶シーズンの一番茶

収穫は、今年4月下旬～5月上旬を予定。

1aの茶畑から収穫できる生葉30kg程度、仕上げ茶3～4kgほど

製造は製茶機械の都合上、生葉60kgが必要なため圃場の区画はあるものの、製造は一括して行う事をご了承ください。

●二番茶(一番茶収穫後のお茶)に関して

二番茶の収穫は、一番茶を収穫後、45日前後に二番茶を収穫します。しかし、有機無農薬栽培のため二番茶の収穫は、茶の芽の生育にて判断することになります。

二番茶の加工茶は、茶の芽の生育により異なり、緑茶・紅茶など、田中製茶工場にて判断をして、お茶の芽にあった加工をいたします。また、害虫や病気の被害により、収穫出来ない事態も多々ありますので、ご了承下さいませ。

※年間、一番茶、二番茶の2回収穫の見込みはあるものの、その年の天候、気候変化、お茶の芽の生育などにより、生葉収穫、加工茶の量、茶種は大きく異なります。

また、万が一「一番茶」が害虫などの被害により全滅のような状態になれば、その他の圃場で茶葉は確保し、オーナー様にお届けできるよういたします。

また、現在の指定の茶畑も改植時期が近づいており、来年以降、新たに別の場所で改植を進め、その茶畑が収穫できるようになるまでの間は現行の茶畑での収穫を実施していくことも検討しております。茶畑が採れるようになるまでの成長記録も同時に楽しみ頂けるようにいたします。

田中製茶工場 三代目園主 田中 宏
以上

■ オーナー茶畑イメージ



茶畑にはオーナー様の企業ロゴやお名前のボードをご用意いたします。

■ お茶のお渡しイメージ



一煎茶パックでのお渡しや、ご希望のデザインでの印刷やラベリングも可能です。